

地域課題調査報告

県民クラブでは、11月に豊後大野市での地域の課題について現地調査を行い、各関係団体との意見交換会なども開催しました。

豊後大野市 調査事項

●放課後児童クラブ・放課後デイサービス関係者との意見交換会



●関係人口交流施設「cocoonio」見学と意見交換



●藤居ブリューワリーでの見学

視察報告

令和5年11月15日から17日にかけて、栃木県庁、CO2資源化研究所、全国農林水産物直売サミット、坐来大分の会派視察を行いました。

栃木県庁では、今話題の「生成AIの活用」について、導入の経緯や議会答弁作成等の利用可否、ガイドライン等の聞き取りを行いました。栃木県では、使用AIはチャットGPTのみで使用登録などもなく、職員が自由に使用できるようにしており、当面は利用しながら活用の検証を行っていくとのことでした。

CO2資源化研究所では、水素菌の活用による水素とCO2の先端技術研究の聞き取りを行いました。研究所で開発研究しているUCD-1水素菌は、CO2と水素で有機成分を作り出すという極めて潜在能力の高い菌体で、この菌体を活用し、CO2そのものを資源化する技術の研究・確立に取り組んでいるとの説明を聞く中で、CO2排出量全国1位で臨海部のコンビナート企業群で副生水素が生成される大分県にとって、新たな水素利活用や大分県版水素サプライチェーンの構築に大きく寄与できるものと感じ、県の担当部局に対し連携を図っていくよう提言していきます。



全国農林水産物直売サミットは、来年度大分県で開催されることから事前調査として参加いたしました。全体会での講演、事例報告（道の駅もてぎ、道の駅しもつけ）、続いて分科会がありました。来年度は、大分市田ノ浦に「道の駅たのつらら」ができることから、全国農林水産物直売サミットの大分開催を機に、県下全域の道の駅発展に寄与できるよう提言していきます。



坐来大分は、2回目の訪問でしたが、新たなチャレンジ棚を設けるなど大分県PRが充実されており、県の意気込みを感じました。

意見書の採択状況

2023年 第4回定例会

	県民クラブ	自由民主党	公明党	日本共産党	志士の会	無所属の会	日本維新の会	可 否
医療・介護・障害福祉分野における処遇改善等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
認知症との共生社会の実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
食品ロス削減に向けた国民運動の更なる推進の取組を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決

県議会ホームページにて
一般質問の中継録画を視聴できます

<https://oita-pref.stream.jfit.co.jp/>

県議会HPにて過去分も含め、
各議員一般質問の全録画を
視聴できます。

